



今さら聞けない...

教育用語

Q&A

..... Vol.8



Q1

「論点整理」という言葉をよく聞きますが？

学習指導要領の改訂に向けての話で必ず「論点整理」という言葉が出てくるのですが……。

平成28年度末に新しい学習指導要領が示されます。現在のものを改訂するにあたって、2030年という将来の社会状況を想定し、その時代を築く力、生き抜く力として必要なものは何か、また、それらの力を育成するには、学校教育はどうあるべきかということをもとめた提言が「論点整理」です。平成27年8月26日に、文部科学省の教育課程企画特別部会が公表しました。

「育成すべき資質・能力」とは どういうことですか？

論点整理の中では、育成すべき資質・能力について、学校教育法第30条第2項で定められている「学力の3要素」、つまり「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」を関連させて、次の3つの柱立てをしています。

- ① ▶ 「何を理解しているか、何ができるか」
- ② ▶ 「理解していること・できることをどう使うか」
- ③ ▶ 「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」

知識を身につけることのみでなく、学ぶことと社会とのつながりを意識した「社会に開かれた教育課程」を目指しているのです。

「論点整理」では、主にどんなことが示されているのでしょうか？

今後、ますます大きく社会が変化していくことを踏まえて、学校教育の役割を見直していくことについて提言されています。例えば、

- 地球規模の問題に関わり、持続可能な社会づくりを担っていこうとする意欲を重視すること。
- 新しい社会を切り開いていくことのできる資質・能力を子どもたちに育むこと。
- 学校が社会や世界と接点をもちつつ、多様な人たちとのつながりを保ちながら学ぶことのできる開かれた環境となること。

など、新しい学校の姿と、求められる教育や授業の姿を描き、教科等の在り方を探究していくと述べています。

用語を“ちょっと”おさらい

【学習指導要領】

全国どこでも一定水準の教育内容を扱うよう、文部科学省が学校教育法施行規則に基づいて示すもの。

【教育課程】

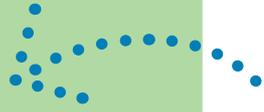
校長の学校経営方針を踏まえて教務主任が中心になって作成する、1年間の教育計画の大元となるもの。自治体の教育委員会が定めた様式があり、教育目標や指導の重点、年間授業時間数、行事の予定等が整理されたもの。

知っておきたい！ 教育最新動向

	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	平成31年(2019)	平成32年(2020)	平成33年(2021)	平成34年(2022)
小学校	新学習指導要領の告示(年度末)	道徳科の教科書採択	道徳科の全面実施 移行措置1年目	新学習指導要領による教科書採択 移行措置2年目	新学習指導要領による全面実施	→	
中学校	新学習指導要領の告示(年度末)		道徳科の教科書採択	道徳科の全面実施 移行措置1年目	新学習指導要領による教科書採択 移行措置2年目	新学習指導要領による全面実施	→
高等学校		新学習指導要領の告示(年度末)				新学習指導要領による教科書採択	新学習指導要領 高校1年から実施

Q2

育成すべき **資質・能力** って何ですか？



それまでに身につけてきたものと関連づけながら、基礎的・基本的な知識や技能を獲得することを目指します。



1

何を理解しているか、 何ができるか

～個別の知識・技能～

これまでの問題解決の学習でも重視されてきたもので、自ら課題を発見して、見通しをもって計画的に解決していく力のことです。

自分の感情や行動を統制する力、自分の思考の過程などを客観的にとらえる力、多様性を尊重する態度と協働する力などの育成を目指します。

どのように学ぶか

*アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善

どのように 教育課程をつくるか

*カリキュラム・マネジメントの充実

その過程で、他者と情報を交流・共有するために、対話や協議を通じて、協働的に問題解決していくための力の育成も目指します。



3

どのように 社会・世界と関わり、 よりよい人生を送るか

～人間性や学びに向かう力等～

理解していること・ できることを どう使うか

～思考力・判断力・表現力等～



2

Q3

「ESD」という用語もよく目にしますが？

■ 日本発のESDの取り組み

2002年に開催された、「持続可能な開発に関する世界首脳会議（いわゆる「ヨハネスブルグ・サミット」）」において、日本は、「持続可能な開発のための教育の10年（いわゆる「ESDの10年」）」を提唱（小泉首相：当時）しました。そこで各国政府や国際機関の賛同を得て、持続可能な開発に関する世界首脳会議実施計画に盛り込まれることになりました。

■ ユネスコがその推進機関になる！

2002年国連総会での日本の提案により、2005年からの10年間で「持続可能な開発のための教育の10年」とすることが決議され、その推進機関としてユネスコが指名されました。

■ ユネスコスクールとは？

ユネスコ憲章に示されたユネスコの理念を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校として、文部科学省と日本ユネスコ国内委員会が認めた学校です。2015年で全国約1000校が加盟し、ESD推進拠点校としての役割を果たしています。

ESDではどんなことを扱うの？

● ESDのテーマ

環境教育、国際理解教育、エネルギー教育、世界遺産・地域の文化財に関する教育など、持続可能な社会づくりのための担い手を育成する内容です。

● 学習指導要領との関連は？

- ・「総則」の「道徳教育」について書かれた文章の中に、ESDで目指すことと一致する内容が示されています。
- ・「社会科解説編」や「理科解説編」の目標に関わる文章の中にも示されています。
- ・扱う内容や学び方の習得などについては、「総合的な学習の時間」で扱うものと一致することが多くあります。

● 具体的な活動は？

社会科や理科などの教科の学習、また、総合的な学習の時間でも既に扱っている内容や活動が数多くあります。課題は、指導者がESDで目指すこととの関連を意識しているか、ということにあります。